輸血・移植学演習

［演習］　第3学年　後期　必修　1単位

《担当者名》〇遠藤輝夫、髙橋祐司

【概　要】
輸血療法の意義と血液製剤の種類を理解し、適切な輸血に必要な知識と検査手技を習得する。併せて、移植免疫に関わる体液性免疫と細胞性免疫について理解する。１）ABO式血液型、２）Rh血液型、３）その他の血液型（MNS式血液型、P式血液型、Lewis式血液型、I式血液型）、４）亜型の同定法、５）抗グロブリン試験、６）交差適合試験、７）輸血副作用、８）移植抗原、組織適合抗原、９）輸血用血液製剤の調製およびその取り扱いについて理解する。

【ディプロマポリシーとの関連性】
（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。
（DP4）臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。
（DP6）臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。